

【報道関係者各位】

児童養護施設に暮らす高校生が大臣に提言 ～子どもの貧困解決にむけたアクションプランの発表～

2017年7月吉日
一般財団法人教育支援グローバル基金

1. 趣旨

一般財団法人教育支援グローバル基金（本部＝東京都渋谷区、理事長＝橋本大二郎・元高知県知事）は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の一環として、虐待やネグレクトなど、様々な事情で児童養護施設に暮らす高校生8名を東京に招聘し、彼らが考える、子どもの貧困解決のための提言を、加藤勝信一億総活躍担当大臣（子どもの貧困対策担当）の前で発表する提言発表会を内閣府本府にて開催します。

子どもの6人に1人が相対的貧困にあるといわれる現代日本において、児童養護施設に暮らす子どもたちが、施設に暮らす子どもの実態を自らの体験を基に語り、今後必要とされる取組について提言を発表します。この機会に、ぜひご取材いただきたく、ご案内させていただきます。

2. 日時・場所

2017年7月28日（金）15時30分～17時
内閣府本府3階 特別会議室

3. 内容

橋本大二郎 一般財団法人教育支援グローバル基金理事長・元高知県知事ご挨拶

加藤勝信 一億総活躍担当大臣ご挨拶

政府説明（子どもの未来応援国民運動について）

教育支援グローバル基金説明（ビヨンドトゥモローについて）

学生スピーチ（飯田芽生愛）

学生スピーチ（荒川未菜子）

チーム提言発表

質疑応答

※変更の可能性がります。

4. スピーチ学生紹介



飯田芽生愛

幼少時に母を自殺で亡くし、児童養護施設に入所した。その経験があったからこそ、虐待を受けている子供たちや生活に困っている子供たちに寄り添うことができたり、より現実的な問題点や対策を提示できるようになったと思う。在籍高校では国際教養科に所属し、英語で児童養護施設の状況について英語で発表したり、台湾やオーストラリアを訪問し、国際交流活動にも熱心に参加している。将来は、子供たちの「居場所」を創ることが夢。その夢を叶えるためにも、大学で心理学を学びたいと考えている。



荒川未菜子

7歳の時から児童養護施設に暮らす。高校1年生の時からビヨンドトゥモローに参加し、人生の中で最も濃い1年になった。一緒にいられる時間は短くても、普段は話せないような話をできる人たちとの出会いがあり、自分は変わることができたと思う。周りの大人に支えられ、充実した生活を送り、大きく成長させてもらった経験から、将来は、日本だけでなく海外においても、貧困の中にあたり社会的養護を必要とする人々のエンパワーメントに携わりたい。その夢のためにも、大学で国際関係学や社会開発を学ぶことを希望している。

5. ご取材のお申込み

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付
 子どもの貧困対策担当
 参事官 相川、参事官補佐 井関
 TEL：03-6257-1438(直通)、FAX：03-3581-0699
 Email:kodomonomiraiouen@cao. go. jp

6. 運営体制

- 主催 一般財団法人教育支援グローバル基金
- 支援 子供の未来応援基金（平成 28 年度未来応援ネットワーク事業）
- 協力 津田塾大学学外学修センター

7. 一般財団法人教育支援グローバル基金について

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念とし、社会経済的に弱い立場に置かれながらも、次世代を担う資質と志を持つ若者たちを対象に、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行ってきました。

理事	橋本 大二郎（理事長） 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天株式会社 取締役常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 モルガン・ルイス&バッキアス法律事務所 弁護士
評議員	木山 啓子 宮城 治男 山崎 直子	特定非営利活動法人ジェン（JEN）共同代表理事 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授

以上